

〈新聞・雑誌媒体比較表〉

産業紙

項目 紙名	発行部数	発刊日	販売形態	媒体（読者）特性
日経産業新聞	151,552部 (日本ABC協会認証)	土日・祝日を除く、 月曜日～金曜日	有償	産業専門紙の中で唯一「日本ABC協会」に加盟。読者の大多数は事業所読者。回読率が高く、実質的な読者は89万人に上る。
日刊工業新聞	422,607部 (自社発表)	土日・祝日を除く、 月曜日～金曜日	有償	製造業の中心を占める「鉄、非鉄金属、金属製品製造業」「機械製造業」「電気機械器具製造業」などで圧倒的な読者層を持っています。資本金3,000万円未満、従業員数300人未満の企業では、最も読まれています。
電波新聞	295,000部 (自社発表)	日曜を除く、 月曜日～土曜日	有償	各企業のトップおよび中間管理職、研究・開発部門エンジニアなどに幅広く読まれている。エレクトロニクスへの新規参入分野、機械、非鉄、金属、化学業界にも焦点をあてメーカー、ユーザーの動向記事を充実。

雑誌・情報誌（メカトロ関連）

項目 紙名	発行部数	発行日	販売形態	媒体（読者）特性
プロダクトナビ	30,011部 (日本ABC協会認証)	毎月1日	無償配布	全産業分野で活躍中の企業人の中から、所属する業種、職務、役職を詳細に調査し生産財導入時の選択・購入決定権を持つ人々のみを読者としている。
日工フォーラム	30,000部 (自社発表)	毎月10日	無償配布	業種・職種・役職など詳細に調査し、厳選された全国の大企業、中堅企業の中で、生産財を購入する際に選択、決定権を有する人々や、設計、製造・生産技術、研究開発、資材など常に新製品・新技術を取り入れる立場の読者。
新製品情報	30,000部 (自社発表)	毎月1日	無償配布	全国の企業、研究機関ならびに関係団体の経営者、資材・購買担当者および技術者・研究者、営業担当者などの生産財ユーザとして直接その選定や購入決定に権限を有している人々。設計、研究開発、生産技術、管理技術等がその中心。
IPG	36,000部 (自社発表)	前月27日	無償配布	生産財購入に際し、決定権、選択権を持つ設計、研究、生産技術を中心とする全産業会の第一線のエンジニア年齢、役職、専門技術などにより厳選している。
メカトロニクス	38,000部 (自社発表)	前月15日	有償 年間購読	メカトロニクス分野における全国主要企業の設計、生産技術、研究開発等に携わる第一線のエンジニア及びトップマネジメント、資材購入購買担当者等、生産財機器導入にあたっての選択権、決定権を直接有する人々。
日経ものづくり	23,331部 (日本ABC協会認証)	前月30日	有償 年間購読	読者の中心はモノづくりの第一線で活躍する技術者。70%が役職者でさまざまな製造業に幅広く分布。設計、研究・開発、生産管理・製造が3本柱。半数が自動車、産学機械、家電民生機器に従事している。

参考資料：日本ABC協会発行社レポート、発行各社媒体資料

〈新聞・雑誌媒体比較表〉

雑誌・情報誌（エレクトロニクス関連）

項目 紙名	発行部数	発行日	販売形態	媒体（読者）特性
EPD	28,000部 (日本ABC協会認証)	前月25日	無償配布	エレクトロニクス産業に従事する研究開発、設計・開発技術、生産技術、製造、品質管理、保守サービスの各技術者および経営スタッフ、資材・購買の各担当者。
日経エレクトロニクス	32,325部 (日本ABC協会認証)	隔週月曜日	有償 年間購読	読者は研究・開発部門に所属する先端技術者。平均年齢は40.9歳で回読する読者は34.5%、平均回読数は8.4人。電子材料・部品・機器などの製造業が約8割を占め、研究・開発、設計部門についても6割以上。
トランジスタ技術	23,760部 (日本ABC協会認証)	前月10日	有償市販	すぐに役に立つ技術を求めている第一線のエレクトロニクス・エンジニアが主な読者。72%が実際に設計・技術、R&Dを担当しており、電子機器等メーカーを中心として、幅広い業種で購読されている。

ダイレクトカード

項目 紙名	発行部数	発行日	販売形態	媒体（読者）特性
フォーラムカード	30,000部 (自社発表)	毎月15日	無償配布	日々必要な新製品や技術を取り入れ、生産財購入に際しては選択・決定権を有する設計、製造・生産技術、研究開発、資材などの技術者・管理者。
インダストリアルカード	30,000部 (自社発表)	前月20日	無償配布	製造業において活躍するエンジニア、管理者を対象とし、その中でも生産財購入に関与する重要なキーマンを発行毎の内容に合わせて選出する。
コスモカード	28,000部 (自社発表)	前月20日	無償配布	生産財購入に際し、決定権、選択権を持つ研究開発、設計、生産技術を中心とする全産業会の第一線のエンジニア。年齢、役職、専門技術などにより厳選している。

参考資料：日本ABC協会発行社レポート，発行各社媒体資料